平成31年度 青森大学 免許状更新講習一覧

講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数講習	図の期間 学校種	主な受講対象者 免許職種、教科等 職務経験等		受講料	受講 人数	受講者募集期間	認定番号
【選択】体験学習法と冒険教育の視点からアクティブ・ラーニングを考える		1)「概念学習」と「体験学習」の学びの特性を理解し、生徒・児童が主体的な学びに取り組むための「体験学習法」の理解を深める。 2)「生きる力」を育む様々な体験活動の中の、特に自然体験活動の教育的な特徴を整理し、体験教育の歴史を振り返り、冒険体験の意義を理解する。 3)学校教育に取り入れることが可能な、「プロジェクトアドベンチャー」や「ラブラトリーメソッド」を体験し、アクティブ・ラーニングの理解を深める。	佐々木 豊志(総合経営学部教授)	平成31 7月22日	年 3(月)	小・中学校教諭、 高等学校の保健 体育、芸術、家 庭、総合の担当 教諭		6,000円	25人	平成31年4月16日~ 平成31年7月12日	平31-30027- 506437号
【選択必修】いじめ・ネットいじめと自殺予防教育の基礎	教育相談(いじめ 及び不登校への 対応を含む。)	1. いじめ・自殺の本質や最近の状況、その背景に関する心理学・社会心理学的理解(集団心理、発達心理、ストレスとコミュニケーション等)をやさしく解説する。 2. 大人には見えず深刻化している、いじめ・ネットいじめのメカニズムと現状、その対策・学校での指導について論ずる。 3. 「心理教育(ストレスコーピング、アンガ―コントロール、SST等)」「こころの健康教育」「人間関係づくり」について解説し、演習(グループワーク)を実施する。	船木 昭夫(社会学部教授) 大谷 良光(子どものネットリスク教育 研究会 代表) 澁谷 泰秀(社会学部教授) 鈴木 康弘(社会学部教授)	平成31 7月23日	年 1(火) 小学校 中学校 高等学校	教諭、養護教諭	特定しない	6,000円	80人	平成31年4月16日~ 平成31年7月12日	平31-30027- 301751号
【選択必修】情報モラル教育(ネット健康リスク 問題を中心)指導の実践講座	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。)等)	情報モラル教育のリスク対象は、ネット・ゲームへの長時間接触による、脳・視聴覚等の発達阻害、睡眠不足による心身の不調等に移行してきている。しかし、学校の認識は乖離している。子どもの健康問題に注視している教育関係者は子どもの異変に気づいている。そこで、医学者の警鐘を踏まえ発達阻害・健康被害の事実・現象とネットとの相関関連、エビデンスを分析し、参加者と共に学校での指導のあり方を考える。演習も重視し学校で啓発講演を行える力量の形成をめざす。	大谷 良光(子どものネットリスク教育 研究会 代表) 船木 昭夫(社会学部教授)	平成31 7月24日	年 十学校 中学校 高等学校	教諭、養護教諭 向け	特定しない	6,000円	80人	平成31年4月16日~ 平成31年7月12日	平31-30027- 301752号
【選択】いじめの学校での指導とネット・ゲー ム依存		学校でのいじめ指導と世界保健機関で疾病と認可されたゲーム依存指導についての教師の力量形成は急務である。いじめ指導の基礎的知識と、学級づくりを通していじめ土壌を改革する指導のポイントに注視し論ずる。また、ゲーム依存は、ゲーム依存予備軍といわれる子ども達への支援・予防教育をいかに行うかをポイントに論ずる。演習も取り入れ学校で啓発講演を行える力量の形成をめざす。(【選択必修】情報モラル教育(ネット健康リスク問題を中心)指導の実践講座及び【選択】情報モラル教育(ネット健康リスク問題を中心)指導の実践講座と一部重複)	大谷 良光(子どものネットリスク教育 研究会 代表) 船木 昭夫(社会学部教授)	平成31 7月25日		小·中·高等学校 教諭、養護教諭		6,000円	60人	平成31年4月16日~ 平成31年7月12日	平31-30027- 506438号
【選択】アクティブ・ラーニングを通じた地域メディアづくり		1)「地域に密着した話題を取り上げる記事・メディアのつくり方」について、基礎的な事項を確認しながら、実際に大学周辺を観察・取材して記事・メディアづくりを体験する。 2)メディアづくり体験を通じて、地域社会を再発見する。 3)ー連のプロセスをアクティブ・ラーニングとして学ぶ体験を通じて、授業で多様なアクティブ・ラーニングを展開するヒントをつかむ。	櫛引 素夫(社会学部教授)	平成31 7月26日	年 ∃(金)	小·中(社会)、高 (地理歴史)教諭		6,000円	40人	平成31年4月16日~ 平成31年7月12日	平31-30027- 506439号
【選択必修】子ども、教師のためのSST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)	教育相談(いじめ 及び不登校への 対応を含む。)	1. 人間関係とストレス、コミュニケーション ストレッサーの影響は、「認知」によって大きく異なることが注目されている。ここでは、人間関係における「認知」「行動」「感情」「コミュニケーション」についてやさしく解説する。 2. SSTの基礎理論 SSTは多くの領域で注目され、予防的、発達的、治療的介入として実践されている。ここでは、行動理論、社会学習理論、グループワーク理論、認知行動療法理論とともに、SSTをやさしく解説する。		平成31 7月29日	年 小学校 中学校 高等学校	教諭・養護教諭向 け	[]] 特定しない	6,000円	30人	平成31年4月16日~ 平成31年7月12日	平31-30027- 301753号
【選択】学校における教育課題と組織的対応 ~校務分掌と教師間連携について考える~		1. 学校現場における様々な教育課題についての共通認識を持ち、校務分掌を中心とした組織的対応の重要性について考察を深める。 2. 実際に経験した教育課題、時代の変化に伴って今後予想される教育課題への対応について、校務分掌と教師間連携の観点から協議する。 3. 各グループの発表と参加者全員による全体協議を行う。		平成31 12月24	年 教諭 日(火) 養護教諭	小·中·高校教 諭、養護教諭		6,000円	30人	平成31年5月16日~ 平成31年12月18日	平31-30027- 507724号
【選択】子ども、教師のためのSST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)		1. 人間関係とストレス、コミュニケーション ストレッサーの影響は、「認知」によって大きく異なることが注目されている。ここでは、人間関係における「認知」「行動」「感情」「コミュニケーション」についてやさしく解説する。 2. SSTの基礎理論 SSTは多くの領域で注目され、予防的、発達的、治療的介入として実践されている。ここでは、行動理論、社会学習理論、グループワーク理論、認知行動療法理論とともに、SSTをやさしく解説する。 【選択必修】子ども、教師のためのSST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)と同内容	船木 昭夫(社会学部教授)	^{6時間} 平成31 12月25	年 教諭 6日(水) 養護教諭	小·中·高等学校 教諭、養護教諭		6,000円	30人	平成31年4月16日~ 平成31年12月18日	平31-30027- 506441号
【選択】情報モラル教育(ネット健康リスク問題を中心)指導の実践講座		情報モラル教育のリスク対象は、ネット・ゲームへの長時間接触による、脳・視聴覚等の発達阻害、睡眠不足による心身の不調等に移行してきている。しかし、学校の認識は乖離している。子どもの健康問題に注視している教育関係者は子どもの異変に気づいている。そこで、医学者の警鐘を踏まえ発達阻害・健康被害の事実・現象とネットとの相関関連、エビデンスを分析し、参加者と共に学校での指導のあり方を考える。演習も重視し学校で啓発講演を行える力量の形成をめざす。【選択必修】情報モラル教育(ネット健康リスク問題を中心)指導の実践講座と同内容	大谷 良光(子どものネットリスク教育 研究会 代表)	平成31 12月26	年 教諭 6日(木) 養護教諭	小·中·高等学校 教諭、養護教諭		6,000円	60人	平成31年4月16日~ 平成31年12月18日	平31-30027- 506440号

[※]講習会場は全て青森大学です。